

このインフォメーションは、旅行会社の皆様向けの資料です。この資料を報道メディアの記事に用いることや転載することは、堅くお断りいたします。メディア関係の方は、東京支店 旅客営業部 マーケティング・ユニット TEL:03-3240-6153 にお問い合わせください。

旅行会社 各位

日頃から弊社便の販売にご協力をいただきまして、ありがとうございます。

インドネシア・バリ島東部にあるアグン山（GUNUNG AGUNG）の火山活動が活発化しておりますが、現在のところ噴火はしておらず『イ・グスティ・ングライ国際空港』（以下「DPS」）発着の航空便運航に影響は出ておりません。

火山活動が活発化した当初は、日本においても各種報道がありました。その後は報道が減り、情報を得にくくなっていることから、今回の火山活動活発化に関する情報の整理をするとともに、弊社で収集した現時点での情報をご案内いたします。弊社といたしましては、今後新しい情報が入り次第お知らせいたしますが、皆様におかれましても関係各所より情報収集をいただきますようお願い申し上げます。

1. アグン山とバリ島空港や主要リゾートエリアとの位置関係

バリ島南部に位置するDPSは、アグン山 山頂と約 58km 離れており、インドネシア共和国・国家防災庁のハザードマップにおいても噴火時に危険性があると指定された範囲から外れており、旅行される方々の主要な滞在地であるウブド、スミニャック、クタ、ヌサドゥアなどバリ島南部のエリアも同様に範囲外となっております。（ハザードマップについては、この文章の最終ページをご参照ください。）



2. アグン山の現状と観測体制

インドネシア政府が定める4段階の火山危険度において、最も高い「AWAS」に指定されています。(2017年9月22日指定)

これは、9月20日頃より火山性微動の回数が増えたことにより指定されたものです。

日本と同様に、火山が多数ある島国のインドネシアでは、活動が活発な火山があることは珍しくありませんが、危険度がAWASとなる山は少なく、これによりインドネシア政府各省庁が警戒を強めることとなっております。

インドネシア政府 火山危険度

レベルⅣ	: AWAS
レベルⅢ	: SIAGA
レベルⅡ	: WASPADA
レベルⅠ	: NORMAL

出典：INDONESIA PVBMG

同時に、ハザードマップに基づき、住民が過剰な警戒や避難をすることがないように、安全であると判断された地域の住民については、自宅にて過ごすよう指示が出されています。

アグン山の観測情報についてはインドネシア火山地質災害対策局（PVBMG / <http://www.vsi.esdm.go.id/>）が毎日、ウェブサイトにて情報をアップデートするほか、必要に応じてインドネシア国家災害庁（BNPB / <https://www.bnpb.go.id/>）からも情報発出がなされます。

また、航空機運航に影響がある噴煙があった場合には、ICAO 国際民間航空機関が指定するダーウィン航空路火山灰情報センター（VAAC Darwin / <http://www.bom.gov.au/info/vaac/>）より、影響が想定される空域に関する情報が発出され、その地域を避けたフライト運航が行われます。現時点で、VAAC Darwin より、アグン山に関する警戒情報は発出されておられません。

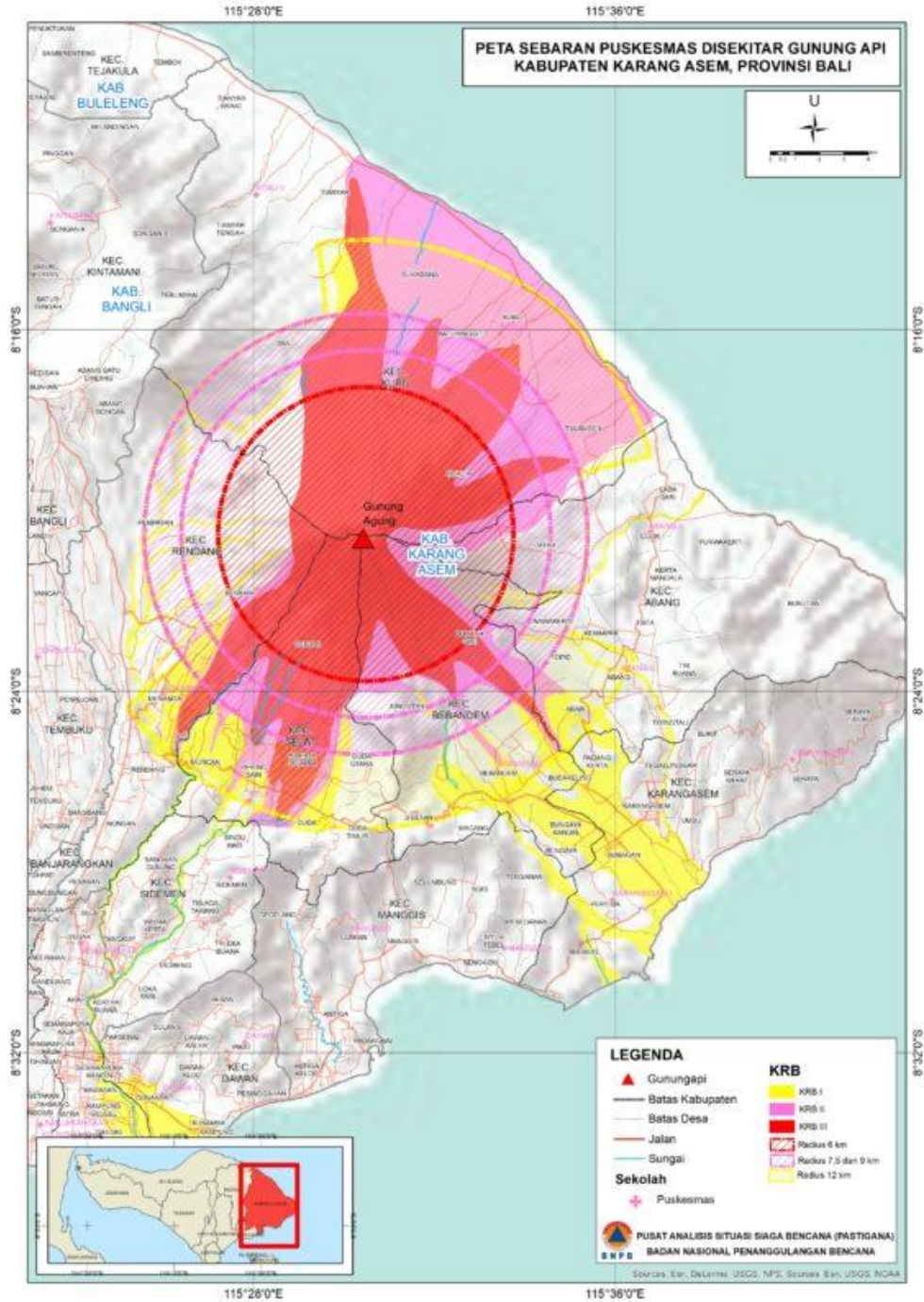
3. DPS 現在の運航状況

以上のように、DPSとアグン山の位置関係及び警戒範囲、噴煙がないことから、DPS発着の航空機は全便通常運航しています。

アグン山 ハザードマップ

警戒区域は、アグン山を中心にバリ島北部に広がり、空港やリゾートホテルが多いクタ、レギャン、スミニャック、サヌール、ヌサドゥア、ジンバラン、ウブドの各エリアは指定区域外です。

<http://geospasial.bnpp.go.id/2017/09/27/peta-sebaran-puskesmas-sekitar-gunung-agung/>



上記ハザードマップの範囲を
1 ページ目の図で示すと
右のようになります

